



 Season off

2023 Spring & Summer Collection

■ CONCEPT

「普通」の洋服も、
誰かの「特別」な洋服。





アイコンに込めた想い

Season offのアイコンは一枚の葉っぱ。葉が破れていびつな形になった葉っぱは、流行に左右されない定番の洋服、いつまでも色褪せることのない洋服を作り続ける、私たちを表現しています。

通常、形になってからでなければ刺繍を入れられない部分（ハギ目）に刺繍が入っています。これは製品として完成した証として刻印の意味が込められています。ただ作って終わりではなく、最後の最後まで一着ずつ愛情を込めてひとつの作品を作り上げるという作り手のこだわりが詰まっているのです。

刺繍は一度、葉っぱの形にしてから再度その上に立体的に刺繍を施しています。そのため、万が一刺繍糸の表面が切れてしまったとしても、地の部分（生地）が見えることなく、葉っぱの形を保つことができます。

■ HISTORY

Season offのものがたり

織物の街として知られる群馬県桐生市にある小さな縫製工場からシーズンオフは誕生しました。

縫製工場はメーカーさんから縫製のご依頼を受け作業に取り掛かりますが、時期によってはどうしても手が空いてしまう期間が生まれてしまいます。簡単に言えば「暇」になってしまうのです。仕方ないこと。と放っておくのではなく、縫い手のさらなる技術向上も含めて有効活用しようと考え、手が空いてしまう期間＝シーズンオフに自分たちでも洋服づくりをはじめたのが立ち上げのきっかけとなりました。

生地の質はもちろん、縫製の仕方、ボタンひとつにまで独自のこだわりを持ち、“安いもの”ではなく、“良いもの”を展開してきました。はじめは手が空いてしまう期間に作り展開してきましたが、私たちの「心」を受け取り喜んでくださる方がいらっしやっただことが私たちのものづくりに対する想いを熱くさせてくれました。

こうして2016年、本格的にファクトリーブランド、Season offとして動きはじめました。





■ KIRYU CITY

桐生は日本の機どころ

群馬県桐生市



▲群馬県民お馴染みの上毛かるた

では、なぜ桐生は織物の街になったのか？

諸説ありますが、古くから「白滝姫伝説」が語り継がれています。それは約1200年前の桓武天皇の時代、婚姻によってこの地に住むことになった白滝という名の美しい姫が身に着けていた養蚕・製糸・機織の技術を里の人々に教えたというお話で、それが桐生織を始まりとされています。

その後も桐生織は「西の西陣、東の桐生」と称され江戸、明治、大正、昭和と日本の繊維産業を支えました。昭和中期には群馬県で人口最多の市になり、繊維で繁栄した街となりました。現在でも市内には、その当時の繁栄を思わせる「ノコギリ屋根工場」などの産業遺産が多く残っています。

そしてその歴史は現在でも受け継がれており、染色、織物、刺繍、生地整理加工、縫製と一貫生産ができる、関東では最大の繊維複合産地として知られています。

「織都1300年」と謳う様に奈良時代から絹織物の産地として知られる桐生市。

桐生市は群馬県の南東部に位置し、赤城山や日光連山など市の7割にも及ぶ山々に囲まれ、渡良瀬川と桐生川が穏やかに流れる、緑と水の恵まれた山紫水明の街です。

市街地はレトロな雰囲気が漂う建造物が立ち並び、その中には繊維工場や織物工場をはじめ、カフェや飲食店、アトリエなどの小さなお店が連なっています。

TEXTILE

桐生の織物

1300年の歴史のある桐生の織物は奈良時代から「あしぎぬ(絹)」を朝廷に献上したとあるように古くからの絹織物産地です。江戸時代には幕府から天領(幕府直轄の領地)とされ絹織物と共に発展しました。

桐生で織られる織物を「桐生織」と呼び、主にジャガード織やドビー織のことをさします。明治～昭和と和装離れが進む中、洋装織物に変化していき繊維産業はファッション産業として注目を集め、現在でも桐生織はわたしたちの着る洋服にも活かされています。

ジャガード織は、タテ糸を1本1本個別に動かして柄やデザインを直接織り込んでいく技法で、生地自体に立体感を生み出し複雑な柄を織るのに適しています。織られて作られた柄は、プリントでは表現できない美しい立体感を持ち、伝統を感じられます。そして、織りあがった際に糸を切り取る技法「カットジャガード」は、多くのブランドから称賛される技術で、織物の街桐生ならではの職人技です。

ドビー織は、手機(手織機)の延長線上で、タテ糸を一定の本数を上下させて織るので、小さな柄やチェックやストライプなどの連続した柄を織るのに適しています。緻密な組織を織ることができるため、とてもなめらかで端正な生地に仕上がるのが特長です。

絹織物産地だったことから、細い糸の長繊維が得意でポリエステル、レーヨンなどの化学繊維をタテ糸に用いることが多いですが、日常着を謳うSeason offではタテ糸に天然素材(綿、シルク)を使い、桐生の織物をSeason offらしくお届けできるように産地ならではの技術を取り入れています。





■ BASIC LINE

シルクプロテインTシャツ

綿100%のシンプルでベーシックなクルーネックTシャツに天然シルクから抽出された純度の高いたんぱく質（シルクプロテイン）、椿アルガンオイルをまるごとコーティングした一着。ずっと着ていたくなるほどなめらかでほんのり光沢感があり、上品な印象を与えてくれます。



見た目はなんの変哲もない普通の無地Tシャツですが、桐生市にある染色工場が開発した特別なシルクの抽出液をほどこしていることで「なんか良い。」と思える一着に仕上がりました。

Tシャツをまるごとコーティングすることで表面だけでなく、内側、繊維の奥までシルクの特徴を感じられます。天然繊維である綿素材の高質感にシルクによる高い保温力と、椿アルガンオイルによるソフトな肌触りがプラスされ、着るひとを虜にしています。



■ BASIC LINE

一生着たいシリーズ

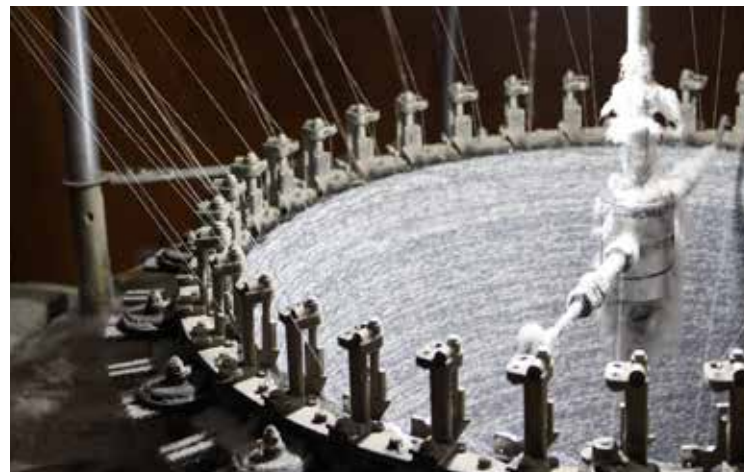
ベーシックなデザインの中に細部のこだわり、生地こだわりの詰まった
ユニセックス仕様の一生着たいシリーズ。
丈夫で型崩れしない、肌触りの良い素材、外出時に着ても上品に見える、そして長く着られる。
まさに一生を共に過ごせるような一着になっています。



裏毛生地は日本有数のメリヤス産地、栃木県足利市にあるテキスタイル会社、
柳田株式会社にてSeason offオリジナルで編み立てていただきました。

裏毛生地＝「BD空紡裏毛」は、ほどよいハリ感があり、
しっかりとした印象ですが嫌な硬さはなく、
さらっとしたやわらかい生地に仕上がっています。

この生地は単糸（1本の糸）が表糸・中糸・裏糸の3層構造で編み立てられており、
表糸は17.5/1、中糸は30/1の空紡糸、裏糸は10/1の綿カード糸が使用されています。
（数字が小さくなるほど太い糸になります）



SOPK070 ジップアップパーカー ¥17,600
SOPK080 プルオーバーパーカー ¥16,500

SOT070 スウェットトレーナー ¥13,200
SOPT070 スウェットパンツ ¥15,400

SOT143 プルオーバー ¥12,100



Smooth Wash

スムースウォッシュ

超長綿タイプライター生地シリーズ。
超長綿は綿の全生産量の5%しか取れない貴重な綿繊維で
綿のカシミアとも呼ばれています。

タイプライターは名の通り、タイプライターで打ち込めるほど
しっかりとした生地ですが、非常に細い綿繊維を使用している
ことで肌触り良く、ほどよい艶感と軽さが特徴です。



SOL073S	ブラウス	¥15,400
SOS073S	シャツ	¥16,500
S00P073S	ワンピース	¥22,000



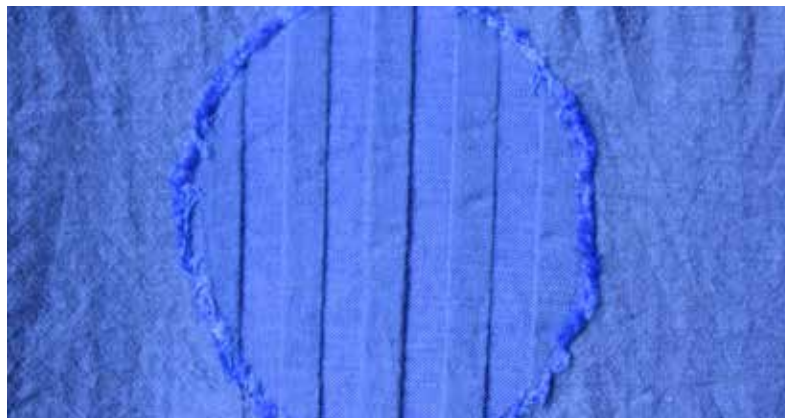
Dot Broad

ドットブロード

ドット柄がプリントされたブロード生地は綿100%の滑らかな印象。
ユニセックス仕様のボタンダウンシャツ、女性らしいシルエットのAラインブラウスの2型展開。

ボタンダウンシャツには水洗いタンブラー乾燥をかけ、
ユニセックスらしいワーク感を出した仕上がりに。
同じ生地でも加工によってそれぞれの表情を持つレトロチックな一着。

SOL043S ブラウス ¥12,100
SOS043S シャツ ¥16,500



Dot Cut Jacquard

ドットカットジャガード

生地を織りながら柄を作っていくジャガード織は桐生らしき溢れる生地。
ドット柄の中に縦ストライプの入った珍しい柄で、レーヨンの特性が活かされている。

一つの模様を作るために多くの工程を要しているため、自然な立体感や奥行きがあり、
刺繍やプリントとは違った特別感のある生地。

SOL153S Aラインブラウス ¥19,800
S00P153S ベストワンピース ¥26,400

SOSK153S ギャザースカート ¥26,400
SOT153S 布帛Tシャツ ¥14,300



Smooth Wash Cleric

スムースウォッシュクレリック

綿糸の中では細い繊維で織られたタイプライター生地、超長綿ストライプ生地を使用。
超長綿は「綿のカシミア」とも呼ばれるほどとてもやわらかく、しなやかな肌触りが特徴。
襟、カフスには刺繍ボタンを採用し、ほっこりとした印象をプラス。

SOL083S シャツ ¥17,600
S00P083S ワンピース ¥24,200



Cotton Stripe

綿ストライプ

綿素材のストライプ柄生地。

ワンウォッシュをかけ、微妙に小さいシワ感があるのがポイント。

軽い空の入った淡いカラー展開で、あたたかい季節らしい風合いに。



S00P033S シャツワンピース ¥19,800
S0L033S ワイドシャツ ¥15,400



Plat Air In

プラットエアイン

綿麻素材のブロード生地に、リラクシングな表情とふんわりとした膨らみをプラスする加工「プラットエアイン」をほどこした一着。

この加工により程よいザラつき感がある生地に。

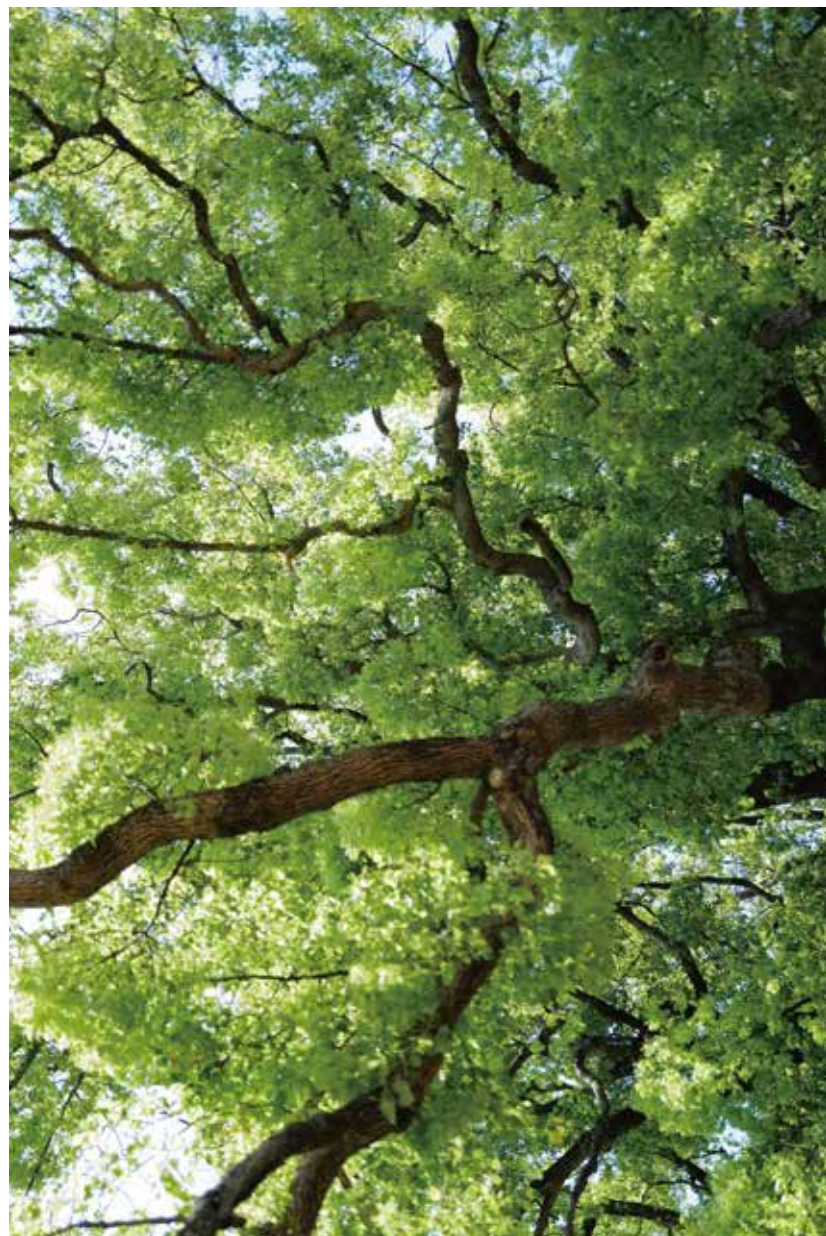
S00P113S スキッパーワンピース ¥19,800
S0L133S スキッパーシャツ ¥15,400



Cotton Linen Jacquard

綿麻ジャガード

桐生の織物では珍しい天然素材で織られたジャガード生地。
ワンウォッシュ加工をほどこすことで自然なシワ感が
ナチュラルな印象に。





Shirring Stripe

シャーリングストライプ

綿99%、ポリウレタン1%のナチュラルなシリーズ。
たった1%のポリウレタンが入っているおかげで、
くしゅくしゅとしたシワ感のあるナチュラルな印象に。

S00P173S ワンピース ¥19,800
S0L173S ブラウス ¥14,300
S0SK173S スカート ¥17,600



SHOP

桐生の小さなカフェ&ライフスタイルショップ

縫製会社が手がけるカフェ&ライフスタイルショップ、EACH OF LIFE THE SHOP。

ファクトリーブランドSeason offを中心に桐生で生まれた作品や製品、普段の暮らしに彩りを添えてくれる商品を展開するとともに、日々の多事から解放されるようなスペシャルティコーヒーを提供しています。Season offはこのショップと壁一枚挟んだ場所で作られているため、完成したお洋服をいち早くお届けしています。

EACH OF LIFE THE SHOP

群馬県桐生市広沢町2丁目4109
11:30-19:30(月-土) 10:30-18:30(日)
火曜日定休

HOME PAGE



ONLINE SHOP



Instagram



お取り扱い店

EACH OF LIFE THE STORE

東京都中央区日本橋室町2-2-1
コレド室町3 3階
10:00-21:00

4epicé × Season off

千葉県松戸市松戸1181
アトレ松戸 3階
10:00-21:00

工場十貨店 東京

東京都千代田区丸の内1-9-1
大丸東京店 9階
10:00-20:00

工場十貨店 日本橋

東京都中央区日本橋室町3-2-1
コレド室町テラス 2階
10:00-21:00

Season off

2-4106, Hirosawa-cho, Kiryu-shi, Gunma, Japan

Tel/0277-54-0739

Product by NAGAMASA Co., Ltd

カタログ内の価格は税込価格となっております。

仕様変更に伴い、仕様やカラー、価格が異なる場合がございますのでご了承ください。